キッズキャンプ終了報告

平成26年4月19日～20日

「おいしい！」

ソメイヨシノから八重桜へと花見の主役を替えた４月も中旬、ふれあいの村で子どもたちの声が響きます。

小学１年生から４年生を対象にした「キッズキャンプ～春のクッキング～」を開催しました。完成した料理を、八重桜の下で食べれば気分はもう「お花見」です。楽しく、そしておいしく春を満喫するキャンプとなりました。

初日朝、受付を終え、オープニング会場に集まる子どもたち。少し顔が強張っています。１年生とは言っても「新１年生」で、しかもこの時期ですので、正直まだまだお泊りにも不安があるのでしょう。初めて会うお友達と会話するのもなんだか距離を感じます。何より、送り出すご家族の方々も緊張の面持ちです。

キャンプはそういった緊張を抱えたままスタートするのですが、心の緊張を少しだけほぐせば、後はもう自分たちだけで友達の輪が広がります。スタッフのゲームで緊張を少し取ると、その後のお弁当タイムでは、自分の持ってきたレジャーシートにお友達を座らせてあげるなど心温まる光景を見ることが出来ました。

お昼ごはんを食べた子どもたち、午後一番の活動は「春のアドベンチャーツアー」！村の地図をもってアドベンチャーツアーに出発です。クリアするミッションは、①村の「春」を見つけよう。②タケノコ仙人を探そう。③謎の草を手に入れよう。④木の名札をつくろう。の４つ。グループで村内を自由に探検に出かけます。

村内で見つけた春は全て、シールにして「巨大春マップ」に貼り付けます。全てのグループから集められた春のシールで、地図は満開です。また、竹林でのタケノコ収穫体験や、「謎の草」＝ヨモギ摘みも体験し、見つける楽しみと、それを友達と共有する面白さ、さらに自分たちで収穫した野菜、野草を食べる期待を膨らませることができました。アドベンチャーツアーが終わったみんなの胸には頑張って作った「木の名札」がぶら下がっていました。

夜は翌日のクッキングで使用する「竹カップ」を作成しました。この竹カップは茶碗蒸しのお椀として使用します。はじめてノコギリを使う子もいて、中にはキャンプ中で一番楽しかったと言ってくれる子もいました。「春のおまつりクッキング」ではヨモギを練りこんだうどんと、一つずつ作った「竹カップ」で茶碗蒸しをつくります。

二日目は春のクッキングに挑戦です。こねこね、ふみふみ、まぜまぜと楽しい作業が続きます。出来上がった料理は色とりどりで、上には綺麗な八重桜。春のおまつりクッキングの名にふさわしい食事となりました。メニューが低学年にとって少し渋すぎるかなと思っていましたが、自分たちで作った料理は格別なようで、「もっと食べたい！！」「おかわりないの？」と用意した料理があっという間になくなってしまいました。

今回のキッズキャンプのテーマは「自然でたのしい　自然がおいしい」。自然の中で春を見つけることを楽しみ、さらに自分たちで見つけた食材を、みんなで調理し、旬の味覚を堪能。まさにテーマ通りのキャンプでした。

キャンプを通してできた新しいお友だちと、おいしい食事。「おいしい！」と声を上げる顔には、初日の緊張はどこにも見られず、自然を楽しみつくした笑みがこぼれていました。　文：林田（まぁぼ）